

# Software & Services

お客様の情報システムのライフサイクル全般にわたる継続的なサービスを提供

## 事業戦略

ITを取り巻く環境は厳しい状況が続いていますが、ソフトウェア・サービス市場は、e-Japan、医療、自動車といった業種のほか、SCM、ERP（経営資源管理）、アウトソーシングなどのビジネスが伸長しています。富士通のお客様への調査結果によれば、過半数のお客様が「顧客情報管理・営業支援」、「財務・会計管理」を重点投資分野として認識しています。また、システム部門の担当者の重要課題として、「企画・提案力強化」と「セキュリティ対策」を挙げています。

富士通グループはこうしたお客様のニーズの変化を掴み、2003年度は特にお客様のITに関するあらゆるプロセスに着目し、情報システムのコンサルティング、企画、アプリケーション開発、アウトソーシング、メンテナンス、セキュリティといったお客様の情報システムのライフサイクル全般にわたる継続的なサービスの提供に注力します。お客様毎に専門のSEが一部の情報システム構築だけにとどまるのではなく、そこから派生する様々なニーズ—例えばお客様の情報システムを一括受託しての運用（アウトソーシング）、アプリケーションの保守など—について、常にお客様の視点で要望を把握し、期待に応えてまいります。

システム開発の短縮による生産性の向上については、システム開発の基本となる標準部品や業務処理別のパターンを活用することによって、高品質かつ低コストなシステムの迅速な提供を実現してまいります。また、欧米の関係会社は2002年度には利益体質への転換を果たし、今後は政府・公共関連ビジネスやアウトソーシング商談を中心に、攻勢に転じます。





#### 商品別の事業戦略

- ソリューション/システムインテグレーション (SI) 事業については、重点市場・分野を選定し、富士通グループの財産である17万社に及ぶカスタマベースを生かした事業を展開します。各業種向けサービスのうち、公共分野では、国内・海外での電子政府ビジネスの実績をもとに、日本での市町村合併に伴うシステム統合や、世界各国で広がりを見せる電子自治体関連ビジネスに力を入れてまいります。また、製造業・流通業などの各業界の変革をリードするお客様に対しては、財務・会計・生産管理など様々な業務を統合したパッケージソフトのGLOVIAを中心に、ビジネスの拡大を狙います。
- ネットワークサービス事業では、お客様のシステムを一括受託し、富士通のインターネット・データセンターやお客様のもとで運用の代行を行うアウトソーシングサービスのメニューを拡充し、新たにお客様の業務システムそのものを代行するサービスも展開してまいります。また、ブロードバンド化対応済みの富士通の基幹ネットワーク網 (FENICS) を活用し、急速に普及が進むIP電話サービスやお客様のIPネットワークの構築をスピーディに行ってまいります。
- お客様のシステムの運用管理やセキュリティに関するサービスを提供するマネジメントサービス事業では、日本最大の約10,000名のシステムサポート要員と1,000ヶ所の拠点を活用し、きめの細かいサポートを提供してまいります。また、お客様のシステムが高度化、複雑化するなかで、不正アクセスや情報漏洩などが増加しており、これに対するセキュリティについても、万全の対策を施してまいります。
- ミドルウェア事業は、ソフトウェア・サービスビジネスとプラットフォームビジネスの連携による富士通の総合力発揮の鍵と位置付けています。富士通グループの提供する新しいIT基盤「TRIOLE (トリオーレ)」を構成する重要な商品として、システムの短期構築を容易に行える「Interstage」と、システムの安定稼働を実現する「Systemwalker」に注力してまいります。